

多摩センターわくわくプロジェクト Vol.6

多摩センターでは、令和4年度から「まちづかい」を起点とした新たなまちのつくり方をスタートし、これからのまちの事を考えています。また、令和6年末に方向性を出すことを目指しています。

まちづかい・から考えよう
これからのまちのこと

令和6年度活動のポイント

令和4年度からスタートした本プロジェクトは、ハード整備などの具体化に向け、令和6年度にまちの方向性を打ち出すことをめざしています。令和6年度も、まちづかい社会実験やワークショップ・対話などの「多摩ラボ(仮称)」活動を通して、引き続きまちの声を聴きながら、これからの「まちの方向性」を考えていきます。

☎ 経済観光課 ☎ (338) 6830

令和6年度の活動予定は、順次
公式ホームページに掲載！ プロ
ジェクトにぜひご参加ください！



これからのまちの一つでも多く、まちの人が行動することによってつくられていきます。
令和6年度はこれまで取り組んできた「まちづかい」を「まちづくり」へつなげていきます。

- 分野横断的に考える
- 市民同士の行動(活動)を行政が支援

- つかい方を考えてからつくる
- つかいながら、つくりながら管理・運用を考える

ざっくばらんな会話
・チャレンジの支援

まちづかい・まちづくり

オープンイノベーションの場「多摩ラボ(仮称)」

市内外の個人・企業・団体など、属性を問わず、多摩センターでの「やりたい」人が集まる場です。

さまざまな主体が対等な立場で、ざっくばらんに会話をしたり、交流したりすることを通じて、実際に多摩センターのフィールドを使ってワクワクすることをみんなでつくり出してきました。

場パルテノン多摩5階(令和6年9月30日まで設置期間を延長)



パルテノン大通りの坂を利用したピンボールを実施▶

多摩センター駅周辺の「まちのビジョン」

「まちづかい」の目線から、「まずはやってみる」ことからスタートし、令和5年度は社会実験として実際にまちの声から出た未来の実現に向けた検証を行いました。

令和6年度はまちのビジョンとして、まちづかいをする人が継続して行える「場」を実現していく仕組みを検討し、具体化に向けてまとめていきます。

■日常使いから考える道路空間

令和5年度は社会実験やワークショップでの意見をもとに多摩センター駅周辺の特徴である遊歩道の安全な通行について、検証をしてきました。

令和6年度はこれまでの課題などを踏まえ、歩行者と自転車とが安全に通行できる交通マナーの実施に向けた取り組みを行います。

